



かけはし

青の2組

～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、青の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載しております。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

運動会では、パラバルーンのなかで『フラダンス』を踊ったり、力を合わせて競技をしたりした子どもたち。その後も、「みんなでダンスをしたり、ゲームをしたりしたい!」という声が聞かれ、身近な素材を使っては、いろいろな遊びが生まれてきました。

フラダンスとレイ・プレスレットづくり

レイをつくってフラダンスを踊りたいという思いから生まれた遊び。



ハワイのフラダンスの衣装を見た子どもたち。自分たちも踊るときにレイをかけたいというので、お花紙を用意すると、早速レイづくりがスタート。



つくったお花を毛糸でつなげレイが完成。すると、衣装もほしいとスズランテープでつくることに...



フラダンスを踊るときに、波もあつたらいいという意見も出てきて、どんな素材がいいか身近な素材の中から探し出してきた子どもたち。素材の音で波のイメージをつくらうという試みもはじまりました。

音当てクイズ

フラダンスをしていた子どもたちが、身近な素材に触れているときに、波の音に似ている!と気づいたことから生まれた遊び。



フラダンスを踊るときに、波の音もあつたらいいと、波の音をつくり出そうとしていた子どもたち。他クラスからどんぐりをもらってきたり、園庭から砂、枝、木の实、石を探してきたりしていました。「砂だとサラサラって音がすると思うよ」「どんぐりはゴツゴツした音かな」と音を予測しながらビニール袋や箱にいろいろ入れては音を確かめていました。「クイズにして友達に出したら楽しいかも!」という意見が出て、箱の中にそれぞれ違う物を入れて、その音を聞かせ、中に何が入っているか当てるクイズが生まれました。



音当てクイズに見事に正解した友達への景品づくりもはじまりました。

的あてゲーム

素材の特性をいかして遊んでほしいとゴムをおいておいたことから生まれた遊び。



ゴムの特性にも触れ、それをいかして遊んでほしいと願い、ゴムを用意しておく、早速ゴムを飛ばす遊びが始まりました。「どこにとぶか試してみよう!」「ゴムを引っ張る力(加減)が難しい」と何度も挑戦していた子どもたち。吊るしてあ的に当たるようにしていましたが、当たったかわかりにくいという意見が。



その後、「台を組み立てて紙コップや容器に当てるゲームにしたらどうか?」という意見から、遊び方が変わっていききました。的にした物が落ちるとわかりやすい!ということで土台を作成。土台の後ろ側にいて、倒れて落ちたのを片づける係も必要だと気づき、その役をすすんでする子どもも出てきました。



「スタートする場所(撃ち始める場所)を決めた方がいいよね?」「ひとり何回する?」「友達がたくさん来て混雑したときはどうする?」など、遊びのなかでうまくいかないことがあると、みんなで意見交換し、解決策を練る姿もみられました。

バランスゲーム

カブラや身近な素材を積み重ねて遊んでいたことから生まれた遊び。



カブラで遊んだ経験からか、トイレットペーパーの芯を積み重ねて遊びだした子どもたち。それらを可愛く積み重ねられるようにと、芯に折り紙を巻き付けていきました。



やがて、より高く積み上げようと、段ボールも活用するようになりました。バランスをとるのがなかなか難しく、ヤクルトの空き容器や紙コップなども取り入れ、協力しあいながら工夫していました。



その後、積み上げるのを競うゲームへ。「チームに分かれて競争しよう」「はじめと終わりがわかるようにした方がいいかも」「タイムは、砂時計で測ればいいよ!」など、遊び方やルールについてもみんなで意見を出し合い決めていきます。

モグラゲーム

モグラの穴と出合ったことがきっかけで生まれた遊び。



夏季合宿の森林散策でモグラの穴をみたり、多摩動物公園にモグラがいることを知ったりしたことがきっかけとなり、モグラの遊びもはじまりました。モグラは土の中にいるからと、段ボールでお家をつくり、そこから顔を出して自分がモグラになりきって楽しそうに遊んでいました。



最初は、モグラたたきゲームのように遊び出しましたが、お友達の顔をたたくことはよくないので、モグラをつくってみようということに。モグラの顔は図鑑で調べて製作。しっかりと顔を支えられるよう工夫する姿も。このモグラを使ってどういうゲームにしようかと、現在、みんなで思案中です。

